



横浜薬科大学市民公開講座

シリーズ企画令和7年度第1回

これからの薬剤師

これからの薬剤師は、デジタルヘルス、人工知能、およびデータ解析の進化により、患者中心の医療のさらなる進化が求められています。そこで本講座では、薬剤師がどのようにこれらの新技術を取り入れ、患者のケアに貢献していくのか、実践的な事例を提示して学びを深めていきます。市民のみなさまの健康寿命の延伸に貢献できますことを願っております。

1 日時 令和7年6月28日(土) 14:00～15:00 (13:30から受付)

2 場所 横浜薬科大学講義棟A22講義室 住所: 横浜市戸塚区俣野町601

最寄駅: JR・市営地下鉄戸塚駅(バス約20分)

JR大船駅(バス約20分)

相鉄・市営地下鉄・小田急湘南台駅(バス約15分)

市営地下鉄下飯田駅/相鉄ゆめが丘駅(バス約20分)

※ バス乗車の行先は、俣野公園・横浜薬大前行またはドリームハイツ行に乘車して「俣野公園・横浜薬大前」にて下車してください(神奈川中央交通)

※ 本学駐車場は、スクールバス及び教職員が利用するため来校者の駐車はできません。私有車で来校される方は、近隣の有料駐車場(俣野公園駐車場)をご利用ください。

3 定員等 100名 参加費は無料です。

4 講座内容

サプリメント・健康食品のホントの話

～薬剤師・サプリメントアドバイザーが教える

賢い選び方と注意点～



講師：
実務実習センター
准教授 鈴木高弘

今後の予定

第2回 令和7年8月下旬予定 横浜薬科大学ホームページに掲示します。「抗生物質と薬剤耐性(仮)」

5 申込み

(1) 申込方法: 本学HP【セミナー・イベント/市民公開講座】又はQRコードからお申込みください。

(2) 申込期間: 6月23日(月)17:00まで ただし、定員になり次第締切ります。

(3) 参加通知: 受付完了後にメールで通知します。



6 問合せ: 横浜薬科大学 事務センター内 市民公開講座係 若尾 裕幸

TEL 045-859-1300 E-Mail. shimin.kouza@hamayaku.ac.jp

横浜薬科大学市民公開講座

シリーズ企画令和7年度

これからの薬剤師

～第2回～

これからの薬剤師は、デジタルヘルス、人工知能、およびデータ解析の進化により、患者中心の医療のさらなる進化が求められています。

そこで本講座では、薬剤師がどのようにこれらの新技術を取り入れ、患者のケアに貢献していくのか、実践的な事例を提示して学びを深めていきます。

市民のみなさまの健康寿命の延伸に貢献できますことを願っております。

日時

8月23日（土）14：00～15：00

会場

横浜薬科大学講義棟 A12講義室

住 所：横浜市戸塚区俣野町601

最寄駅：JR・市営地下鉄戸塚駅（バス約20分）

JR大船駅（バス約20分）

相鉄・市営地下鉄・小田急湘南台駅（バス約15分）

市営地下鉄下飯田駅／相鉄ゆめが丘駅（バス約20分）

※ バス乗車の行先は、俣野公園・横浜薬大前行またはドリームハイツ行に乘車して「俣野公園・横浜薬大前」にて下車してください（神奈川中央交通）

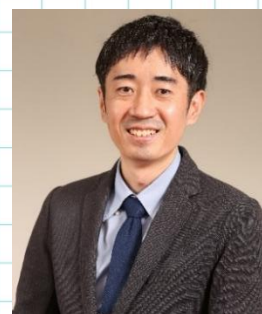
※ 本学駐車場は、スクールバス及び教職員が利用するため来校者の駐車はできません。私有車で来校される方は、近隣の有料駐車場（俣野公園駐車場）をご利用ください。

演題

「知ろう 抗生物質 ～クスリが効かないバイ菌の話～」

「ペニシリン」をはじめとした抗生物質は、人類を感染症の脅威から守っています。近年、様々な抗生物質の過剰使用により、薬が効かない薬剤耐性菌の増加が問題になっています。

本講座では、次の世代に抗生物質を残すための知恵や、基本的な感染対策についてお伝えします。

実務実習センター
講師 氣賀澤 郁

今後の予定

第3回 令和7年10月下旬予定 横浜薬科大学ホームページに掲載します。

「今の薬剤師に必要な能力とは～AIの活用と多様性との向き合い方」

- 申込み：(1) 申込方法：本学HP【セミナー・イベント/市民公開講座】又はQRコードからお申込みください。
(2) 申込期間：8月18日（月）17:00まで 定員100名（ただし、定員になり次第締切ります。）
(3) 参加通知：受付完了後にメールで通知します。

問合せ：横浜薬科大学 事務センター内 市民公開講座係 若尾

TEL 045-859-1300 E-Mail. shimin.kouza@hamayaku.ac.jp



第3回これからの薬剤師

市民公開講座

参加無料
定員100名

これからの薬剤師は、デジタルヘルス、人工知能、およびデータ解析の進化により、患者中心の医療のさらなる進化が求められています。

そこで本講座では、薬剤師がどのようにこれらの新技術を取り入れ、患者のケアに貢献していくのか、実践的な事例を提示して学びを深めていきます。市民のみなさまの健康寿命の延伸に貢献できますことを願っております。

日時

10/25 (土)

14:00~15:00 (受付13:30~)

場所

横浜薬科大学講義棟 A12

講師

実務実習センター 佐藤 恭輔 講師

演題

今の薬剤師に必要な能力とは
~AIの活用と多様性との向き合い方~



医療現場では、機械化・自動化・AI化が進んでおり、いわゆる対物業務（物を対象とした業務）は大半が機械やAIのサポートで効率化されている。一方で対人業務（人を対象とした業務）があり、これはAIに代替してもらう訳にはいかない。現場の薬剤師に求められるAIを活用する力と、多様性に配慮した医療の提供についてお伝えします。

次回予告 12月下旬「薬の投与方法と剤形について（仮）」

●お申し込み

申込方法：本学HP【セミナー/市民公開講座】又はQRコードからお申込みください。

申込期間：10月24日（金）17:00まで

参加通知：受付完了後にメールで通知します。

●お問合せ

横浜薬科大学 事務センター内 市民公開講座係 若尾（ワカオ）
TEL 045-859-1300 E-Mail shimin.kouza@hamayaku.ac.jp



市民公開講座 ～第4回～ これからの薬剤師

これからの薬剤師は、デジタルヘルス、人工知能、およびデータ解析の進化により、患者中心の医療のさらなる進化が求められています。

そこで本講座では、薬剤師がどのようにこれらの新技術を取り入れ、患者のケアに貢献していくのか、実践的な事例を提示して学びを深めていきます。市民のみなさまの健康寿命の延伸に貢献できますことを願っております。

日 時 令和7年12月17日(水) 10:30～11:30

場 所 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16番地17
戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース(大)

申込等 申込不要 参加無料 定員 80名

演 題 「薬の投与方法と剤形について」

講 師 横浜薬科大学 実務実習センター
榊田 晴美 講師

薬は、病気や怪我をした時に治したり、痛みを緩和したりするために使われます。製剤技術の進歩により、錠剤、シロップ、散剤、湿布、注射薬など様々な薬のカタチ(剤形)が誕生し、その使用方法も多岐にわたっています。

今回は、薬を安全かつ効果的に使用するために基本的な知識、薬の使用方法、剤形について詳しくお伝えします。



●後援:神奈川県

●次回予定:「花粉症治療について考えよう(仮)」
令和8年2月中旬頃 (年明け後に本学ホームページに掲載します。)

●問合せ:横浜薬科大学 事務センター内 市民公開講座係 若尾(ワカオ)
TEL 045-859-1300 E-Mail. shimin.kouza@hamayaku.ac.jp